2018　No.297　2018年2月号　発行／2018年2月1日

The Ehime Association of Small Business Entrepreneurs

Ehime Doyu 2月号

【人を生かす経営】＝【『労使見解』の精神を生かした経営指針を確立し、社員教育を進め、障がいのあるなしに関わらず、求人を行う経営】

【人を生かす経営の総合実践】＝【人を生かす経営を、産学官報金労連携の枠組みで、条例制定・推進運動を通して、地域と企業で実践する】

2017年度スローガン　**今こそ、経営者の責任を果たし、「人を生かす経営」を実践し、地域からあてにされる企業をめざそう！**

同友会理念　良い会社をつくろう、良い経営者になろう、良い経営環境をつくろうの同友会3つの目的実現に向けて「地域社会と共に歩む」中小企業の自覚をもち「自主・民主・連帯」の精神で企業経営と会運営を行うことです。

発行：愛媛県中小企業家同友会　編集：広報情報化委員会

目　次

伊予・松前支部12月例会……2
東温支部12月例会……3
松山支部12月例会……4
今治支部12月例会……5
四国中央支部12月例会……6
第19回報道関係者との懇談会…7
第15期同友会大学閉講……8
経営指針成文化セミナー開講…9
広報情報化委員会紹介……9
同友会で俳友会……10
会員掲示板……11
経営相談室コラム……11
理事会議事録……12

広報情報化委員会担当
第19回報道関係者との懇談会を行いました！

2017年12月7日（木）、松山全日空ホテルにて第19回報道関係者との懇談会を開催しました。報道機関3社4名、会員16名の計20名が交流を深めました。本懇談会では“地域に根差した経営実践”をされている山内満子（スリーラインズ株式会社 代表取締役／愛媛同友会 会員）さんに報告をしていただきました。

報道関係者との懇談会は、6月に同友会運動について、12月に会員企業の経営実践事例についてを報告します。同友会が報道関係の皆様と相互に理解を深めるために開催しており、年間2回を定例化しています。本会報誌7ページに詳細がございますので、ぜひご一読ください。

陶冶

人事評価制度の信頼性を高めるには

多くの真面目な会社は詳細で精緻な「基準づくり」に執着します。評価項目を増やしてみたり、目標管理制度で評価してみたり、客観的な基準を立てようと苦心します。しかし、人事評価制度の信頼性の源は詳細で精緻な「基準づくり」にはありません。一言で言ってしまえば、人事評価制度の信頼性・納得性は、会社、社長、上司に対する信頼によって生まれます。「人事評価制度の信頼性は、それを実施する会社等への信頼から生まれ」ます。こう言いますと、「なんだ！そんなことといわれても、同義反復でどうしたらよいのかわからないよ、そもそも信頼がないから困っているのに・・」と言われそうです。日本の統治機構として、三権分立（行政権、立法権、司法権）の仕組みがあります。立法権の正当性の根拠は、民意の反映です。つまり、多数決で民意が一応反映されているので、法律の中身はさておき、正しいとみんなで認めることとしています。一方、司法権の正当性の根拠は、裁判所への信頼です。人事評価制度と同様にその制度への信頼が大切なわけです。では、その信頼はどこから来るのでしょうか？それは「手続の適正さ」です。詳細で精緻な基準づくりに走るのではなく、「手続きの適正さ」を磨く方向に舵をきったほうが良いです。手続の適正さとは、部下（被評価者）の意見をどのようにとりいれるか、評価の前提となる事実はどう把握するのか、誰がどの段階で評価するのか、評価の説明は誰が、いつ、どのようにするか、評価と金額の決定根拠に納得がいかない場合どうするのか、評価者の人格・資質を高めるための取り組みはいつ、誰が、どのようにするのか、評価者毎の甘辛調整はいつ、誰が、どのように行うのか等です。こうなれば、いかに評価にかかわる利害関係者で対話と議論を行うのか、という自社に合った「手続きの適正さ」を確保するか、という事になるわけです。（横）

愛媛県中小企業家同友会
〒791-8057　松山市大可賀2-1-28 アイテムえひめ　TEL(089)968-3112　FAX(089)968-3107　http://ehime.doyu.jp

会報誌をよりよくするためにご意見やご感想をください。

伊予・松前支部12月例会

２０１７望年例会
～各社１年間の振り返りと新年の抱負を語ろう～

■日　時：12 月 5 日㈫　■会　場：想咲料理と焼酎と 桜介　■参加者：23 名

12 月 5 日 19 時から、伊予松前支部の忘年会が行われました。当支部では、昔から忘年会を“望年例会”と呼び、前向きに来年への挑戦を決意する会となっています。開会にあたり、支部長で次回第 7 回の経営フォーラムの実行委員長でもある大政裕志さんより挨拶がありました。昨年の第 6 回経営フォーラムの慰労を含めて、みんな良く頑張りましたので来年も引き続き頑張りましょう、との挨拶でした。乾杯の音頭は、代表理事で元支部長（伊予松前支部の初代支部長）の田中正志さん。「現支部長、前支部長（今村暢秀さん）共に、支部を立派に運営をされてるので、大変嬉しく、頼もしく思いますし感謝をしています」との挨拶でした。そして、2018 年も皆さん頑張りましょう、との掛け声で高らかに乾杯しました。

参加人数は、総勢 23 名でした。場所は、昨年同様「想咲料理と焼酎と 桜介（サスケ）」です。サスケといっても、手裏剣が飛んで来たり、忍法〇〇の術といった、怪しい料理が出て来た訳では決してありません。美味しい料理で、出席者を大変満足させてくれました。

私達は楽しく和やかに交流をし、来年に向けての鋭気をしっかりと養いました。閉会の挨拶は、副支部長の程野裕貴さんがされました。「中々思う様には出席出来ていないけれど、来年は同友会で学び、みなさんと共に成長して行きます」との決意を語られました。一丁締めで、楽しい 2 時間の望年例会は無事終了。お疲れ様でした。2018 年も、皆様どうぞ宜しくお願致します。

新年の抱負を語り合いました

寄稿：桑波田　健さん（岡田印刷㈱／伊予・松前支部）

支部情報：有限会社程野商店　程野裕貴さん

創業 1882 年（明治 15 年）　なる“ほどの”程野商店

創業より 130 年間、愛媛県民のお味噌汁の具として愛されてきた『松山あげ』を製造・販売し続ける程野商店！ 5 代目代表取締役社長・伊予松前支部副支部長である程野裕貴さんは、奥様とともに商談会・販売などに出て自社商品を売り込んでいくなど、非常にアグレッシブであり、『何事も続けていくことが大切』を信念とされています。現在は自社商品を使ったアイデア料理を開発・紹介するなどの展開もしています。

長男である『綜一朗』さん（画像：左）も入社し事業承継も行っていくなど、社長としてまだまだ頑張り続けなければならないとおっしゃっていました。

愛媛県民に愛されてきた『松山あげ』

寄稿：好永　隆之さん（㈱昆布森／伊予・松前支部）

東温支部12月例会

魅力ある企業とは
～必要とされる経営者と企業になるために～

■報告者：**秋川　保親**　氏
　秋川会計事務所株式会社　取締役／愛媛県中小企業家同友会　経営相談室長
■日　時：12 月 19 日㈫　■会　場：利楽　■参加者：14 名

12 月 19 日㈫東温市の見奈良天然温泉 利楽において、東温支部恒例の秋川保親さんの報告会が行われました。私たちにとって、経営者としての原点に返らせてくれる大切な例会となっています。今回は、必要とされる経営者と企業になるためにという事についてお話をしていただきました。

報告者の秋川保親さん

戦後、人々の憩いの場として多くの銭湯や映画館が出来ましたが、住宅が建ち始めると銭湯が街から姿を消し、テレビの普及によって映画館は激減しました。当社においても、創業時主力だったサービスが数年前に無くなったり、そろそろ役目を終えようとしているサービスもあります。このように物事は常に変化をしながら歩みを進めていきますが、これからはそのスピードが急速に進んでいくそうです。

座長の篠原治行さん

また、日本が抱える大きな問題の1つに人口減少があります。日本の人口は 2007 年から 2010 年がピークで 2011 年頃から減少を始めていますが、今年からは 18 歳の人口が減り始め国立大学も倒産が懸念される状況になってきました。2020 年には女性の過半数が 50 歳以上となり出産が激減すると予想され、2024 年には団塊の世代が 75 歳以上となり社会保険料が激増すると予想されています。

このような未来が予想されている中、本当に行き詰ってからでは遅いので、体力がある今のうちに社員とその家族が幸せになれるように考え、備えるのが我々経営者の役目だとおっしゃっていました。そして、秋川さんは中同協元会長である赤石義博氏の「同友会は生き様を学びあう会だと感じた」という言葉に凄く感銘を受けたそうですが、生き様とはその人の考え方であり、経営者は何のためにこの会社が存在しているのかという事をトコトン考えてほしいと強く語っていました。

例会報告後、
懇親会を行いました

“必要とされる経営者と企業になるため”には、まず経営者自身が「覚悟を決める」ことが第一歩だと心に刻むことが出来た例会報告となりました。

秋川さん、本日も沢山の気付きをいただきましてありがとうございました。

寄稿：中村　剛さん（㈱コピー愛媛／東温支部）

支部情報：坊っちゃん劇場（株式会社レスパスコーポレーション　小林喜弘さん）

100 年前に板東俘虜収容所でドイツ兵俘虜たちがどうしてベートーヴェンの第九『歓喜の歌』をアジアで初めて歌うに至ったか、そこには国境を越えた、ドイツ人俘虜と地元民との心の交流がありました。物語ではドイツ兵ミハエルと遍路宿の一人娘である明子とのラブロマンスに加え、明子の父や母の家族愛、そして国は違っても同じ人間。人類愛や平和も描きます。笑いあり、涙あり、感動あり、歌あり、踊りあり、更に「ス〇ウ」あり！？のエンターテイメントミュージカルです。

「ス〇ウ」は劇場で観劇して当ててみてください。皆様のご来館をお待ちしております。

寄稿：小林　喜弘さん（㈱レスパスコーポレーション／東温支部）

松山支部12月例会

時代を生き抜くための『四方よし』の精神とは
～『共育ち』の人材育成こそが、会社の未来を創る鍵～

■報告者：**大政　裕志**　氏
　月心グループ　常務取締役／愛媛県中小企業家同友会　理事・伊予松前支部長
■日　時：12 月 20 日㈬　■会　場：松山市青少年センター　■参加者：58 名

報告者の大政裕志さん

松山支部 12 月例会は、「時代を生き抜くための『四方よし』の精神とは」のテーマにて、月心グループ常務取締役の大政裕志さんを迎えて行われました。

大政さんは、病院で薬剤師として勤務の後、2003 年に月心会館に入社、同友会にも 2006 年に入会され、創業家の一人として熱心に学ばれます。そして社内での業務改善などの提案をしますが、社員さんたちからは猛反対されます。なぜそうなったかと振り返ると、そこには社員さんとの信頼関係が築かれていない、人が育たない、ついてきていない、という社員さんとの距離の拡がりがありました。しかしここで一つの転機が訪れます。それは例会に香川同友会代表理事の川北 哲さんが来られたことです。報告の中で、川北さんの会社の理念を聞き、これだ！と感じられます。そしてたどり着いたのが、「四方よし」の経営です。

「三方よし」は近江商人の教えにある、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」ですが、そこに「働き手よし」を柱に加えられます。当時は、社員さんから「彼ら（社員さんたち）の未来をどう考えていますか」と質問され、頭を殴られたような衝撃を受けます。そして取り組まれたのが、新卒採用の開始です。しかし、最初の年は採用することができないという衝撃の結果でした。

座長の内藤成博さん

でもここから、人財育成の取り組みが始まります。新卒者を迎えるにあたり、受け入れ態勢を構築、キーマンとなる人の育成、メンター制度などに取り組まれます。そして現在では、毎年数名の採用ができており、「この会社でよかった」と新入社員さんに言ってもらえると話される大政さんの表情には実践者としての誇りを感じました。

大政さんは同友会では社員教育委員会でも長年活動されていました。同友会大学などの運営をする中で、経営者と社員さんが一緒に参加しているということが大事と言われました。やはり、経営者が学び続け、社員さんとの共有をし、キーマンの育成をしていくこと、また「働き手よし」とは労使見解の精神、そして人を生かす経営の総合実践である。教育から共育へと移り変わり、共育を継続していくことが「月心グループ」の企業目的である「幸福共有」につながると言われています。

例会報告の様子

今例会では、大政さんが前回報告されてから 10 年の月日の中で、考え方や価値観の変遷、それと実践してきたことを報告していただきました。報告を聞く中で、これから経営革新が求められる時代に経営者として何をしていかなければならないのかを学ぶことのできた例会でした。

寄稿：弓立　公司さん（㈲ユアーズ・ケア／松山支部第 2 地区会）

第1地区会情報：有限会社ダスキンタカモリ　高岡直矢さん

有限会社ダスキンタカモリの高岡直矢さんの会社は 1970 年 4 月に創業し 48 年に至ります。

高岡さんは 2007 年 1 月に入社し現在 11 年目となります。6 名の明るいスタッフさんと共に仕事を頑張っています。ダスキンタカモリさんはダスキン販売代理店の FC 加盟店で清掃用具をメインに扱ってます。おもに一般家庭が 9 割で 6000 軒のお客様を対象に清掃用具のレンタルを行っています。エリアは中予全域で、4 週間に一度交換をしてます。地域の交換スタッフ 75 名のスタッフが各エリアを任されており、地域に役に立つ仕事を目指して日々元気に働いています。

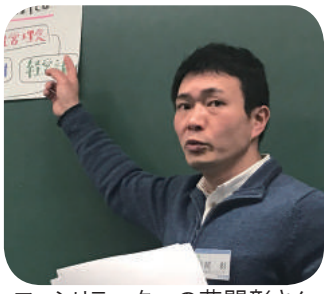
それから事業者様向けにオリジナルダスキンマットを製作してます。皆様ご要望があれば高岡さんまでご相談頂けたらと思います。高岡さんは「これからですが地域に役に立つ事を目的とした新たな事業の展開を考えています。お家でお困り事の相談を受け付ける窓口づくりを進めて行くなど、新しい事への挑戦もしながら、地域に密着した“無くてはならない企業”を目指して頑張ります」と語られました。今後もダスキンタカモリの発展を目指して、成長して頂けたらと願っています。

寄稿：奥江　英記さん（㈲ビーレビュー麺屋十銭／松山支部第 1 地区会）

今治支部12月例会

ワークショップ例会
～経営指針を楽しく学びあう～

■ファシリテーター：**菊間　彰**　氏
　一般社団法人をかしや　代表理事／愛媛県中小企業家同友会　今治支部幹事
■日　時：12 月 20 日㈬　■会　場：今治地域地場産業振興センター　■参加者：22 名


ファシリテーターの菊間彰さん

今年最後の例会は、ワークショップ形式で開催しました。ファシリテーターは一般社団法人をかしや代表理事で、今治支部幹事の菊間彰さん。普段はとっつきにくい「経営指針」をテーマにした、若手社員さんやゲストの方々と一緒に学ぶ例会でした。

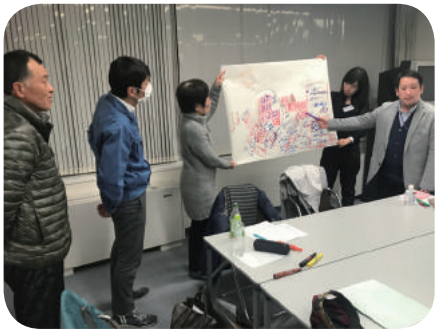
場を和ませ、緊張感をほぐすゲーム感覚のワークの後に各グループに分かれました。架空の老舗とんかつ屋になり切り、妄想を膨らませ「経営指針」を創っていきました。立場や経験の違うメンバーですが、発言を否定しない「安全な場」では若い社員さんや、親子で参加のゲストの方からも活発な意見が出てあっという間の討論時間でした。

普段の社内の会議でもワークショップの手法を生かすことができると思いました。発言しやすい空気づくり、場づくりが何より大切です。いくら時間をかけてもそれ無しにいい議論は出来ない事を体験できました。

2 月は東温支部、伊予・松前支部との合同例会で、今回同様ワークショップ形式で行います。ファシリテーターは同じく菊間さん。今から 2 月の合同例会が楽しみです。皆さんの参加をお待ちしています。

寄稿：越智　堅太郎さん（オチ工業㈱／今治支部）

グループワークの様子「全員が“とんかつ屋”」


“とんかつ屋”として理念発表

支部情報：有限会社大西塗装　中倉浩明さん

今治支部新会員の中倉浩明さん（有限会社大西塗装　常務取締役）を訪問しました。

同社は今治市大西町に本社を構え、主業務は造船塗装や鉄塔塗装。また、関連会社ではポン酢の製造なども手掛けています。

「実は破天荒なんです」と中倉さん

一見、大人しそうな、にこやかな中倉さんですが「実はかなり、破天荒なところがありまして…」と照れ笑い。学生時代には京都の下宿から今治の実家まで、自転車で帰省したこともあるほど。また、大学で国際交流団体に所属し、様々な人種・民族・宗教の人々と交流してきたそうで、台湾出身の奥様と出会ったのもこの活動がきっかけ。卒業後には 1 年間かけて、バックパッカーとして世界一周してから、家業入りしたそうです。当時を振り返り、「自分にとっての当たり前が、他の人には当たり前ではないということを体感できた」「日本人、愛媛県民、今治市民としてのアイデンティティを確立して、自分らしさとは何か、自分に何ができるのかを深く考えることができました」。

家業入りしてから、代表取締役である父親の「経営者としての覚悟、凄み」に改めて気づき、父の作ってきた道と示している方向性を引き継ぎつつも、「自分らしさ、自分にできること」を模索しているという中倉さん。その一つとして、PCやスマホのアプリを活用した「仕事の見える化」を推進中。新たに参入した鉄塔塗装については、模型を用いた塗装のシミュレーションを考案するなど、「社員さんが楽しみ、皆が能動性を持って働くことで、自分の仕事に誇りを持てる仕組みを作っていきたいです」とにっこり。2018 年の目標は「同友会でしっかり学んで、自分なりの哲学・理念を作り上げたいです」。

シミュレーションに用いる
模型（人物付き）

文責：大北　雅浩（愛媛同友会　事務局員）

四国中央支部12月例会

変える勇気と守り抜く意思の経営
～3期連続赤字から5期増収増益した原因とは～

■報告者：**芳野　裕士**　氏
株式会社 GOOD FIELD　代表取締役／愛媛県中小企業家同友会　理事・経営労働委員長
■日　時：12月21日㈭　■会　場：ホテルグランフォーレ　■参加者：29名

今年最後の例会にふさわしい報告者に松山からお越しいただきました。俳優の江口洋介に似た容姿に、声は元日本代表のサッカー選手ゴン中山こと中山雅史にそっくりで、その語り口はまるでお好み焼きを焼く寸前の鉄板のような熱々の報告でした。

芳野裕士さんは30歳の時にお好み焼き店を開店。理由は、26歳の時に幼馴染だった元日本代表ラグビー選手を突然の事故で亡くしたこと。「飲食店の経営をしたい」という彼の夢を代わりに自分が実現するという想いで起業されました。

自分の慢心からか、開店2,3年後から3期連続赤字債務超過に転落。その年に愛媛同友会に入会し、いろいろなことに気付かされ大きく方向転換し、その後5期連続増収増益。現在4店舗の経営をしており、社員さんは64名です。

お好み焼きを囲んで食べているお客様の笑顔の輪を見るのが大好きで、そこにご自分の幸せを感じている芳野さん。お客様に喜んで頂くには何が大事なのか。そして社員さんに働くことの喜びを感じてもらうためには、さらに社員さんが家族の方から「この会社に入って良かったね」と言って頂くにはどうすればいいのか。芳野さんは本音で社員さんと話せる関係でいる事を心がけています。「社員さんと共にお客様の笑顔を追求し続けて、人間成長することが売上の成長につながる道ではないでしょうか」と芳野さんは語ります。

“情熱こそが唯一、人の心を震わす力となる”。熱いお好み焼きを囲んで、社員さんたちと話し合いたくなりました。

報告者の芳野裕士さん（右）と
座長の久保安正さん

グループ討論の様子

寄稿：熊野　輝彦さん（ダスキンあたッく／四国中央支部）

支部情報：泉製紙株式会社　宇高将仁さん

今回は、郷ひろみ似、グッドボイスの素敵な泉製紙㈱取締役常務の宇高将仁さんに伺いました。
泉製紙は古くから紙の産地である川之江で紙製品の生産を行い、中でも紙紐を製造していたことが契機となり、戦後よりトイレットペーパーを生産してきました。製造の9割がトイレットペーパー、その他としてタオルペーパーなども製造しており、現在の宇高治社長で4代目となる創業約70年の歴史ある製紙工場です。

いつも新しいものに敏感で、これまでも時代に先駆けたエコの感覚から100％再生紙を利用した商品や、実用家庭紙でありながらワンランク上の商品作りを心掛け、今では当たり前の柔らかくおしゃれなエンボス・プリントロールを20年以上前に作るなど常に時代の先駆者的存在のモノづくりを行ってきました。今現在も時代のニーズに先駆けた2倍巻きロールという新しい商品が出されています。「常に時代の中で一番柔らかいトイレットペーパー作りに取り組んでいます」と胸を張る宇高さん。社風について伺うと、「ひとことで言うと、まじめさですね」、そして、理念は「働く社員が物心共に豊かになる経営」と答えてくださいました。フルマラソンを完走できるポテンシャルを持ち、会社の駅伝のチームを率いているカッコいい宇高さん！
今年も、これからも全力で前を向いて走ってください！

寄稿：森田　文子さん（ハタダ川之江店／四国中央支部）

数々のワンランク上のアイテム

第19回報道関係者との懇談会

■日　時：2017 年 12 月 7 日㈭　■会　場：松山全日空ホテル　■担　当：広報情報化委員会

2017 年 12 月 7 日㈭、松山全日空ホテルにて、第 19 回報道関係者との懇談会を開催しました。

第 1 部は会員による経営実践報告です。竹村義則・広報情報化副委員長が司会を務めました。田中正志・代表理事の開会挨拶の後、竹村義則・広報情報化副委員長が開催趣旨の説明を行いました。

報告 1　平野啓三さん（株式会社平野 取締役会長／愛媛同友会 代表理事）による「愛媛同友会と地域とのかかわり」というテーマで報告がありました。愛媛同友会は産学官報金労と連携を深めてまいりました。今年は南予支部の設立に向け動き出しました。南予の会員さんを増やし、社員と共に地域を活性化する企業を増やしていこうという取り組みについての報告です。

報告者の平野啓三さん（上）と
山内満子さん

報告 2　山内満子さん（スリーラインズ株式会社　代表取締役／愛媛同友会会員）による「経営実践報告」がありました。スリーラインズ株式会社は段々畑で有名な宇和島市遊子（ゆす）にあります。養殖魚が半値になり、しょげてる男性はあてにならんと、女性たちが立ち上がります。養殖だけではいかんと、鯛を加工して販売することにし、漁協から予算をもらい販売車を購入します。販売するのは鯛焼き型の鯛めしです。ブランド化するために車とパッケージを統一デザインにします。デザインには海と鯛と地域の子どもたちを盛り込みました。自社の事業では、鯛料理・おさかな教室と漁業体験を組み合わせた事業・養殖鯛のブランド化（歌吉鯛）、そしてすじ青のりの養殖と新たな取り組みを行います。すじ青のりの養殖では、株式会社日本政策投資銀行（DBJ）の、女性起業家を対象とした「DBJ 女性新ビジネスプランコンペティション」に挑戦し特別賞を貰い、事業支援を受けます。

報告後の質疑回答で、「山内さんの活力の源は」という問いに対し、「人のため、地域のため、家族のためと思えば頑張れます。一生懸命やっていたらいっぱい賞をもらい、出ていかなくても沢山の人に来てもらえるようになりました」ということです。質疑回答後に、名刺交換、意見交換を行いました。

ご参加いただいた報道関係者の皆様（上）と
懇親会の様子

第 2 部では中道昇・広報情報化委員の司会のもと、武田正輝・広報情報化委員長の挨拶・乾杯で報道関係者の方と会員の懇親会を行いました。参加企業の PR として市川麗子さん（株式会社本田洋行　取締役／会員）がシャンプー手袋の説明を行いました。水を使うことなく手袋を両手に装着して頭皮をマッサージすれば、拭取りなしで洗髪できる商品です。ペット用もあります。歓談がすすむなか、杉本太一・代表理事の閉会挨拶でお開きとなりました。

今回の報道関係者との懇談会において　商品サンプル（試供品）をご提供ご協力いただいた義農味噌株式会社、株式会社昆布森、株式会社志賀商店、株式会社本田洋行の各社様に感謝いたします。ありがとうございました。

広報情報化委員会では、定期的に報道関係者との懇談会を行っております。会員の方ならどなたでも参加できます。「こんないい商品ができました」「こんなおもしろいサービスを考えました」といった伝えたいことがございましたら遠慮なくご参加ください。

寄稿：米岡　一嘉さん（㈲オーガスト／広報情報化委員）

第15期同友会大学閉講

2017 年 9 月 1 日から 12 月 1 日までガイダンスを含め全 7 講の第 15 期同友会大学が閉講いたしました。求人教育委員会主催で行い、参加者は 25 名でした。

近年は社員さんの参加が増えていましたが、今回は改めて参加対象者の中心を経営者と位置づけ、新入会員さんや後継者の皆さんに満足してもらえるような講義内容に組み立て直しました。

求人教育委員会で打ち合わせを重ねて準備してきた甲斐もあって参加者からは多くの学びを得た、参加して良かったとの声をいただくことができました。来年度も同友会大学はさらにレベルアップして開催を予定しています。同友会に入会したら必ず受講していただきたい同友会大学。学び多き場ですのでまだ受講されていない方は是非第 16 期同友会大学をお楽しみに。

今回の同友会大学の目的は、以下の通りです。

(1) 利益のあげ方（＝経営の根幹について）を学ぶ
(2) 経営者と社員がパートナーとなりえること（＝経営の基盤について）を学ぶ
(3) 利益の分配（＝社員の意欲の源泉について）の方法を学ぶ
（※パートナー：お互いを人間として尊重し共有された目的（理念）の実現の為に協力しあえる仲間）

以下、講師とテーマの一覧です。

○ガイダンス：9月1日㈮
講師：米田順哉氏（専務理事） NPO 法人家族支援フォーラム 理事長
テーマ：同友会大学で「何を」「何のために」学ぶのか

○第1講：9月15日㈮
講師：今村暢秀氏（理事・求人教育委員長）株式会社世起 代表取締役
テーマ：人を生かす経営の総合実践～経営指針で社員が活躍する企業へ～

○第2講：9月29日㈮
講師：伊藤俊一郎氏（理事・国際化担当）イトマン株式会社 代表取締役
テーマ：外部環境と自社の強み・弱みを知る～商品の付加価値をどう高めるか～

○第3講：10月13日㈮
講師：田中正志氏（代表理事）ギノーみそ株式会社 代表取締役
テーマ：変化し続けることが企業存続のカギ～明日の売上をどうつくるか～

○第4講：10月27日㈮
講師：平野啓三氏（代表理事）株式会社平野 取締役会長
テーマ：事業承継～次世代に承継するものは何か～

○第5講：11月10日㈮
講師：杉本太一氏（代表理事）特別養護老人ホーム梅本の里 施設長
テーマ：チームの総合力を高める～共育・共学の職場環境づくり～

○第6講：12月1日㈮
講師：松本 等氏（副代表理事）生活協同組合コープえひめ 理事長
テーマ：経営理念と自社の存在意義～合併成功のカギは理念の共有～

以上

第 15 期同友会大学講師の皆さん

第 15 期同友会大学
講師の皆さんと講義の様子

文責：伊井　達哉（愛媛同友会　事務局）

第2地区会情報：幹事会勉強会～共に学んでいます～

松山支部第 2 地区会の幹事会では 3 か月に一度、経営課題交流をする勉強会を行っています。幹事の中から報告者を 1 名互選し、自社の課題を報告。どうすれば課題を解決できるか、報告者の会社がこれまで以上に良くなっていくかを参加者全員で協議します。これまでに弓立公司地区会長、内藤成博幹事長、辻内秀明幹事が報告され、参加希望のあった第 2 地区会の会員さんにもご参加いただいております。

また、10 月の幹事会では会員オリエンテーションを開催し、「同友会の特色」「同友会で何を学ぶか？」「同友会理念」を学びあいました。

幹事会の様子

会員オリエンテーションの様子

松山支部第 2 地区会幹事会は、この勉強会の時間をより充実させていこうとしております。勉強会、会員オリエンテーション共に会員の皆さんの参加を募集しております。より多くの参加者で互いの経営課題を報告・協議して学びあってまいりましょう。次回勉強会があるのは 3 月 5 日㈪、時間は 18 時 30 分～ 20 時 30 分です（最初に幹事会を行った後、勉強会に移ります）。ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

文責：難波　賢太（愛媛同友会　事務局員）

経営指針成文化セミナー開講

開講挨拶は経営労働委員長の
芳野裕士さん

第１講・ガイダンス講師の
米田順哉さん

経営労働委員会主催の経営指針成文化セミナーが１月 15 日(月)に開講しました。セミナーは全５講で、参加者は 16 社 39 名。経営者や指針の作成に携わる役員の方だけでなく、多くの社員さんが参加されています。

第１講・ガイダンスは NPO 法人家族支援フォーラム理事長で愛媛同友会専務理事の米田順哉さんが講師を務めました。「経営指針とは何かを知る」「労使見解とは何かを知る」を課題とした内容の報告と「NPO 法人家族支援フォーラムの経営指針成文化と実践」を報告していただきました。

「経営指針成文化セミナーを通して、解決したい自社の経営課題は何ですか？」をグループ討論テーマに、各グループが自社の経営課題を報告しつつ、どのように解決していくかを討論しました。グループ発表では「経営者側、社員さん側双方のベクトルが合っていないことが課題」「指針書はあるが、社員さんに共有できておらず、浸透していない。指針書のあり方を学び、社内に浸透させていく為にはどのような取り組みをしなければならないのかをこのセミナーで学びたい」といった発表がありました。

討論した解決したい課題を発表

第２講は「経営理念・10 年ビジョン」、第３講は「経営方針」、第４講は「経営計画」、そして第５講は「PDCA サイクル・社内への浸透」について学びます。最終講の３月まで共に学んでまいりましょう！

文責：難波　賢太（愛媛同友会　事務局員）

広報情報化委員会活動紹介

広報情報化委員長の
武田正輝さん

広報情報化委員会では、皆様のお手元に毎月発送される会報誌『Ehime Doyu』の発行に伴う編集会議を主に行なっています。この間、会報誌も大きく変化してきました。竹村義則前委員長の時、2016 年６月号よりカラー化、またその後も各支部のページを設け、皆様のおかげで会員情報が以前にも増して充実しております。また、委員でもある高橋大輔さん監修によるコーナー、「同友会で俳友会」もいろいろな方からの投句をいただいております。毎月兼題を設けています。いそがしい業務の間に１句ひねってみませんか？

これからも一人でも多くの会員の方が登場し、読みたくなるような紙面づくりに努めてまいります。新商品やサービス、社員さんの紹介でも結構です。ご投稿お待ちしております！

今後の取り組みとしては、前専務理事鎌田哲雄さんの執筆された「陶冶」の書籍化、また、愛媛信用金庫さんとの学習会など、皆様に“広報情報化”を通してお役にたつ情報を提供していきたいと考えています。

広報情報化委員会は、各支部より委員の皆さんが参加され、元気で活発な議論をしています。会報誌へのご意見・ご感想もお待ちしておりますが、広報情報化委員会にご興味ある方、一緒に議論してみませんか？

寄稿：武田　正輝さん（広報情報化委員会　委員長）

会員情報大募集!!

広報情報化委員会では会員皆さんの情報をお待ちしています。
会報誌で自社情報を発信しませんか？
是非、愛媛同友会会報誌を発信のツールとしてご活用下さい！
お問い合わせは愛媛同友会事務局まで。

ICT の知識や技術を活用し、お客様の夢をかなえます。

WEB サイト制作・運用・保守
セキュリティ運用・関連商品導入
システム開発・サーバ構築
ネットワークインフラ構築・電話設備
各種機器販売

株式会社ディースピリット
〒791-1102 愛媛県松山市来住町 1430 番地 1
TEL：089-948-4100　FAX:089-948-4101

同友会で俳友会

今月の兼題は「春近し」「春隣」「春まぢか」です。これらは冬の季語になります。冬を更に時期で分けると「初冬」「仲冬」「晩冬」に分けられ、兼題の季語は「晩冬」の季語になります。寒さも峠を越え、春がすぐそこまで来ていることを表しています。

最優秀賞
新卒を初の採用春まぢか
安丸　雄介さん（愛媛県中小企業家同友会）

同友会ならではの俳句です。会社の業績が良くなり、これまでしていなかった新卒採用を、今年初めてすることにしました。季語「春まぢか」は冬の季語ですが、すぐそこまで春が来ていて、希望に満ち溢れた感じを表します。これまでの経営の苦労が報われ業績が好転してきて、新卒の採用もできるまでになった。更なる会社の成長を決意する作者の姿勢が表現されています。

優秀賞
茶殻干す筵へ日射し春近し
桐木　利子さん（桐木陽子さん（松山東雲女子短期大学）のご親族）

緑茶を淹れた後の茶殻は、乾燥させると色々な用途に使えます。抗菌効果や消臭効果、栄養もたっぷりなので料理にも使えます。晩冬の天気の良い日に茶殻を筵に広げ、天日干しにしている一コマです。厳冬の時期より日射しが和らいできている感覚を季語「春近し」が支えます。中七下五「筵へ日射し春近し」と韻を踏み軽快なリズムも気持ちが良いです。

佳作
第二ボタンもらう約束春まぢか
難波　賢太さん（愛媛県中小企業家同友会）

卒業式の日に、意中の女子生徒に第二ボタンを渡す風習があります。昭和の時代の風習と思っていましたが、現代の中高生にも伝わっているようです。晩冬の季語ですので卒業式まで約一ヶ月くらいでしょうか。憧れの先輩の第二ボタンをもらう約束ができて、春とともに新しい恋の予感がします。

四月号
兼題　「いぬふぐり」
締め切り　二月二十八日

五月号
兼題　「潮干狩」
締め切り　三月三十一日

六月号
兼題　「心太（ところてん）」
締め切り　四月三十日

講評：髙橋　大輔さん（広報情報化委員）

一月号兼題「成人の日」最優秀賞の桐木利子さんには、景品として服部製紙株式会社さんから商品の詰め合わせを贈呈しました。

今月の景品は
有限会社いっせいグループさんからでした！

誰かのひらめきが、他の誰かを幸せにする。

For Wonderful Life
Itoman
www.e-itoman.jp
□本社／工場：愛媛県四国中央市金生町下分681番地　〒799-0111
□大阪オフィス　：大阪市中央区内本町2-4-16 オフィスポート内本町7F　〒540-0026
□東京オフィス　：東京都中央区八丁堀3-17-16 群成舎八丁堀ビル1F　〒104-0032
□愛媛オフィス　：愛媛県四国中央市金生町下分798-2 KS会館内　〒799-0111

一寸入魂
志賀商店
株式会社志賀商店
豆のことなら何でもご相談下さい
愛媛県西条市今在家921番地
TEL:0898-64-1333
HP:http://shiga-mame.co.jp

新入会員のご紹介（2名）　（12月19日～1月22日）

田中　拓哉（たなか　たくや）
今治支部
㈲田中建設　後継者　土木・建築・造園工事
〒799-2310　今治市菊間町長坂1881-6
TEL(0898)54-2630　FAX(0898)54-5327
紹介者／（合）発達の木　今岡　健一

小川　凌（おがわ　りょう）
1990年6月14日生まれ　**松山支部第1地区会**
Revers eco 代表 不用品回収・PC基盤のリサイクル
〒791-1112　松山市南高井町2021-1
TEL(089)904-2634　FAX(089)904-2634
紹介者／逢坂　逢坂　忍

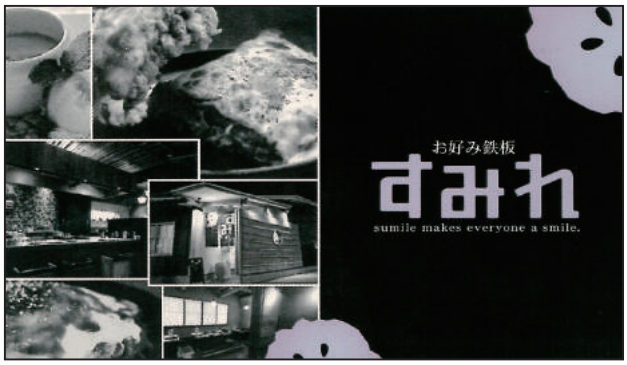
“平成の赤ひげ”の経営相談室からアドバイス

必要とされる企業と人に。

秋川会計事務所㈱取締役
愛媛同友会　経営相談室長
秋川保親　氏

世の中には、必要なもの、あっても無くてもよいもの、邪魔になるものの三つがあります。これは人や企業も同じです。企業は社会が必要としている企業は残り、必要とされなくなれば消滅します。魚の居ない池で釣り糸を垂らしても魚は釣れないし、子供がいない過疎の村に保育所を開いても成りたちません。また世の中は常に変化しています。敗戦直後の大学生達が就職先として選んだ一番人気の企業は炭鉱でした。二番目は繊維産業です。しかし現在炭鉱は殆ど廃坑になり、繊維産業も繊維の生産は一割程度で、化粧品やその他の商品に転換しています。東レは、飛行機の胴体などに使われる炭素繊維の開発で活路を開いていますが、多くの繊維産業にかつての勢いはありません。このような人々が必要としなくなり、世の中が求めなくなれば大企業といえども存続できないのが経営の厳しい法則です。事業で成功している人の共通点は、経営者が自分の仕事に使命感を持ち、社会のニーズを常に学び、損得だけでなく、顧客の期待を超えるサービスや仕事に喜びをもって努力をしている人達のように思います。同友会が目指している「良い会社、良い経営者、良い経営環境」とは、売り上げや企業の大きさだけではなく、自分の店、会社が無くなった時、悲しんでくれる顧客が何人いるのかを常に自問し、地域の人々から必要とされ、無くてはならない「人と企業」になることではないでしょうか。

月々1,000円からのお積立で、安心を未来へつなぐ。
あなたの街のライフパートナー
㈱えひめセレモニー「月心友の会」
お問合せは ☎089-945-8787
葬祭会館　月心会館 新川・港南・空港通り・余土　想心季 月館
家族葬会館　月心会館 新川別館・港南別館・空港通り別館　想心季 星館
ブライダル衣裳　ブライダルハウス マリエ



2017年度　愛媛同友会　第9回理事会　議事録

【日時】2017年12月14日㈭18時30分　【会場】二番町ホール
【出席者】理事15名、事務局員4名　【委任状提出】17通　【議長】今村暢秀　【議事録作成者】安丸雄介

開会挨拶：平野啓三代表理事

承認事項

（1）入会・退会承認
（2）第6回経営フォーラムの総括と決算について承認された。総括として、経営フォーラムの開催目的の議論の徹底が必要であることと、参加呼びかけにあたって日常的な仲間づくり・各会員との関わりが重要であること、懇親会での来賓等の外部の対応に反省が残る点が報告された。
（3）矢野宏道総会実行委員長より第1回実行委員会の報告がされ、全体目標について協議を行い下記の通り承認された。
日時：2018年4月26日（木）16：00開会　15時受付開始
会場：メルパルク松山
記念講演：鋤柄修氏（㈱エステム 名誉会長／中同協相談役幹事）
全体参加目標：300名（会員：250名、ゲスト50名）
参加登録料：8,000円

（協議内容・順不同、敬称略）
○矢野宏道：参加目標は委任状なしでも成立する総会として、全会員過半数を基準に設定。会内では年1回も例会に参加しない会員も多く、今回を機に「オール愛媛」でとりくんで顔の見える関係づくりを行い、愛媛同友会の根本と会風を変えたい。テーマは「再スタート」として、会場は設立総会を行ったメルパルク松山にした。実行委員には若い意欲ある会員に担ってもらい、将来の理事候補など次の担い手づくりをしたい。
○渡部伸哉：参加者300名に同じ想いを共有する総会となる。今回の経営フォーラムの総括と同様、たとえ同じ欠席となったとしても声をかけて「来られない」というリアクションをもらって関わりを持つということが重要。
○弓立公司：矢野実行委員長の思いを後押しして応援したい。出欠確認の徹底の習慣を愛媛同友会の組織文化としてつくっていくことが必要。
○松本等：300名目標を掲げた矢野実行委員長にどれだけ想いを汲み合意できるか。高い目標であれば、それに見合う知恵を出す努力も出てくるはず。
○堀内章：伊予松前支部では、声かけ担当をつくり名簿で声をかけられていない空白をなくす取り組みを行っている。
やはり常日頃のコミュニケーションが重要。
○金子司郎：会活動は理事の意思統一が基本であり、理事会の出席率にも課題がある。理事の自覚が必要。

（4）金融機関に対する方針の専務理事見解について各支部・地区会での意見交換内容が共有され、各支部・地区会で愛媛信金との懇親会や学習会等で交流を深めていくことを前提として、県としては愛媛信用金庫の例会参加を制限する方針は取らないことで承認された。その都度の参加可否については各支部・地区会の実情に応じて独自で判断していただく。
また、武田正輝広報情報化委員長より、広報情報化委員会での学習会として信用金庫への理解を深める学習会を開催することで具体化を進める提案がされ、承認された。

報告事項

（1）南予支部設立の課題について報告があり、理事や松山支部、南予出身の会員を中心に南予交流会の参加が呼びかけられた。
南予交流会2018年2月2日（金）19：00～　にし川（大洲市　田ノ口甲392-6）
（2）松山大学との包括協定の調印式について当日の概要が報告された。
（3）正副代表理事会議、中小企業振興条例、各支部、各委員会等の活動報告について下記の通り報告された。
○中小企業振興条例の課題にかかわり米田順哉専務理事より、11月24日に雄郡小学校・未来デザインゲーム授業の見学を長崎同友会から受け入れたこと、1月29日に島根同友会で出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議にて報告予定であること、2月13日に鹿児島同友会・中小企業憲章・条例シンポジウムで松山市職員と共に報告予定であることが報告された。
○正副代表理事会議議事録（文書報告）
2018年度の理事会日程
2018年4月12日（木）※いずれも木曜日開催。会場は二番町ホール
①4月26日（総会時）、②5月24日、③6月28日、④7月26日、⑤8月23日、⑥9月27日、
⑦10月25日、⑧11月22日、⑨12月13日、⑩2019年1月24日、⑪2月28日、⑫3月28日
（4）全国・他団体行事の報告について
・全国中小企業問題研究集会（兵庫）2018年2月8日（木）～9日（金）参加目標10名以上

閉会挨拶：杉本太一代表理事

第3地区会情報：てくのインシュアランス株式会社　中川祐作さん

てくのインシュアランス㈱さんは、東京海上日動の保険をメインに取り扱われる保険販売会社です。

名刺の裏には「『さすが』…といわれ頼られる代理店を目指します」と謳われています。以前勤めていた金融機関の上司の姿は、決して仕事を楽しんでいるように見えず、昇進しても自分の姿をそこにおくことに疑問を感じられたそうです。転職され、そこで長く保険業に携わるお父さんの姿にこそ価値を見出されたようです。一人一人の能力を大事にされていることはもちろんですが、担当まかせの体制ではなく会社としてチームでお客様に接していくという方針を取られていることも「さすが」と言われるためではないでしょうか。

保険商品にいかに付加価値をつけるか？ひととしてのつながり、関係づくりを強く意識することでその頂に辿り着こうとされています。会で初めてお会いした時から、その穏やかな表情から「ひと」としての温かさを持たれている方だなあという印象を強く感じました。今回お話をいろいろお伺いできる時間の中でそれは確信に変わりました。

寄稿：中道　昇さん（㈲モンド／松山支部第3地区会）

私たちはICTで、誰もが働きやすい社会を創出します。

株式会社フェローシステム
http://www.fellow.co.jp/
089-987-6046

特定非営利活動法人フェロージョブステーション
http://npo-fjs.org/
089-945-7698

システム開発事業・Web開発事業
ITを使って、地域の方々の「あったらいいな」を実現するシステム開発、Web制作を行います。
就労移行支援事業
現役で活躍するITエンジニアが技術支援を行い、障がいを持つ方が就労するためのお手伝いをします。
就労継続支援A型事業
障がいを持つ方が、仕事を通じて社会的に自立し、地域へ貢献する人財となる就労の場を提供します。
放課後等デイサービス事業
障がいをもつ子供たちが、IT学習を通して、社会性、人間性を身につけ、夢を実現するお手伝いをします。

伊予さつま
あったかご飯にかけるだけ
えひめ南予・中予地方で今も食卓にのる
麦みそと海の幸・山の幸を
まぶして食べる郷土の味
GINO GINO MISO CORPORATION ギノーみそ株式会社

究極の挑戦者

麺屋十銭

昔ながらの尾道中華そば

〒790-0004 愛媛県松山市大街道2丁目3－15
携帯 080－5669－0865

ALTERATION & CLEANERS

清水屋クリーニング

私たちが考える良いワイシャツとは、
エリが綺麗なこと。
着心地がしなやかでハリがあること。
清潔でいられること。

E-mail shimizu@infomadonna.ne.jp
〒790-0053 愛媛県松山市竹原4丁目8-47
TEL 089-941-7388
FAX 089-947-2833

有限会社矢野商事（矢野質店）

住所:松山市花園町2番地3 電話:089-941-4044

居酒屋 ぶらぶらある記 089-933-6716
cafe&DinigBar haco 朝生田店 089-935-8558
居酒屋ダイニング おだいどこ 089-913-6050
うまいもんおとぎばなし 花咲か爺屋 089-968-6836
釜飯と串焼 とりでん三番町店 089-915-1194
釜飯と串焼 とりでんのうめん店 089-968-1753
いっせいグループ Issei Group http://issei-g.jp
「食」を通じて笑顔の輪を広げます。
居酒屋 銀の鶏 089-927-1778
レストラン 愛彩館 089-955-2008
名物炭火炙り焼き 浪花屋 鳥造 089-993-6188
お酒の販売店 媛の蔵 089-947-6817

弁護士法人 たいよう

四国の躍進は地域企業と法律家の連携で

愛媛県弁護士会所属 代表弁護士／吉村紀行

愛媛県 松山事務所 ☎089-907-5601
愛媛県 大洲事務所 ☎0893-59-0353

リース車両メンテから、愛車の「困った」、点検まで

トータル・カーメンテナンス
恭栄自動車株式会社

松山市空港通1丁目8-2 〒790-0054
TEL 089-972-1228代
FAX 089-971-4419

保険調剤・ヘルスケア

平野薬局グループ

株式会社 平野

エコアクション21

〒794-0028 今治市北宝来町2丁目2-22
TEL (0898) 32－0255
FAX (0898) 32－0350

税理士法人
asitao
（あしたお）

― 明日を拓くパートナー ―

安部 真 ／ 井上 徳之 ／ 近藤 壮 ／ 十河 篤史

〒790-0066 愛媛県松山市宮田町186番地4 松山駅前ビル4F
TEL：089－948－8294 FAX：089－948－8296

『企業の人のつながりを支えます。』

【提供サービス】
・社外総務支援サービス
・労使トラブル解決支援サービス
・会社を守るリスク管理支援サービス
・人事制度構築支援サービス
・社風向上支援サービス

SRP 全国社会保険労務士会連合会 認証番号：1600609

横本社会保険労務士事務所

〒791-3120 愛媛県伊予郡松前町1350-6
TEL 089-984-2078 FAX 089-984-8533
URL http://www.humanity.co.jp

別注・取付家具
リフォーム・インテリア家具

Abé FURNITURE CONSTRUCTION

有限会社 阿部木工

〒791-1113 愛媛県松山市森松町135番地1
TEL (089) 976-2679 FAX (089) 976-6493
E-mail：info@abe-mokkou.jp
URL：http://abe-mokkou.jp

～災害に強いまちづくりをお手伝いします～

家庭用からプロ仕様まで／消防・防災の専門商社

㈱ 岩本商会

（本社）〒790-0067　松山市大手町1丁目10番地1

TEL　(089) 947-2111
FAX　(089) 947-2116

高松支店　TEL (087) 867-3820
宇和島営業所　TEL (0895) 22-3141
姫原倉庫　TEL (089) 924-4015

http://www.iwamotosyoukai.co.jp

夢文化 創造企業

株式会社ハート

http://www.heart-ltd.jp/

手加工の協力会社を募集しております

総務 東 までお問合せください

クリスマス菓子詰め合せ商品や
バレンタインチョコ、ひなまつり菓子など
お菓子ギフト商品のメーカーです

大可賀事業所
〒791-8505 愛媛県松山市大可賀3-150-8
TEL 089(952)0810代 FAX 089(952)8101

NPO法人

家族支援フォーラム

しょうがいのある方の地域生活をサポートします。

めん処 矢磨樹

Happy Clean

ゆるり茶屋 夢家

yume ya

http://www.h7.dion.ne.jp/~kazoku/

MOVE YOUR HEART!

服部製紙株式会社
HATTORI PAPER MFG. Co.,Ltd.

〒799-0112　愛媛県四国中央市金生町山田井171－1
TEL0896-58-3005　FAX0896-58-3306
http://www.hattoripaper.co.jp

ENEOS

JXエネルギー株式会社特約店

日興石油株式会社

本社	松山市湊町4丁目1番地2	089(931)3221
中の川SS		
三番町SS	松山市三番町6丁目4－17	089(941)7685
カーノオート かもがわSS	松山市鴨川2丁目17－1	089(978)1616
和気SS	松山市和気1丁目473－1	089(979)2044
配送センター	松山市空港通4丁目3－39	089(972)1002

ハト飛来防止用忌避剤
「ハートジェル」販売・施工代理店

株式会社トータル・ビル・サービス

松山市松前町２丁目８－３

TEL 089-946-3255

ハト飛来防止用忌避剤
ハートジェル
Pigeon Evasion Jell
HATO JELL

ハトの被害に頭を抱えていませんか？**「ハートジェル」**はハトの習性を研究して完成した、ハトを傷つけずに追い払う特殊ジェルの忌避剤です。テスト施工無料。
※器具やネット等の取り付けと違い、建物の美観を損ないません。
※効果は１年以上持続し、添付面を汚染することもありません。
お気軽にお問い合わせください。

環境と未来（あした）を考えるシステムの包装商社

株式会社パステムマツザワ

本社	〒791-8507	松山市久万ノ台695番地1	TEL 089－925－7811
中央市場営業所	〒791-8016	松山市久万ノ台348番地1	TEL 089－924－3380
宇和営業所	〒797-0045	愛媛県西予市宇和町坂戸542-4	TEL 0894－62－8980
新居浜営業所	〒792-0872	新居浜市垣生3丁目310－11	TEL 0897－67－1788
広島営業所	〒733-0804	広島市西区山手町17－3	TEL 082－235－1003
高知営業所	〒780-8040	高知市神田971－1	TEL 088－833－3433
徳島営業所	〒771-0204	徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保200－1	TEL 088－698－1585
香川営業所	〒761-2403	丸亀市綾歌町岡田西1081番地18	TEL 0877－35－7010
パックマート久万/台店	〒791-8016	松山市久万ノ台684－1	TEL 089－924－2475

和洋菓子製造

株式会社世起

愛媛県伊予郡松前町北川原 1240-1
TEL089-984-6658

よりよいくらしの想いをかたちに

共同購入・宅配・店舗・福祉・共済・旅行・プレイガイド

コープえひめ

本部/松山市朝生田町 3-1-12
TEL (089) 931-5201
http://www.coopehime.or.jp

あったかい味
お届けします

株式会社 ナカ フードサービス
NAKA FOOD SERVICE

松山市大可賀2丁目2-12　☎952-1156